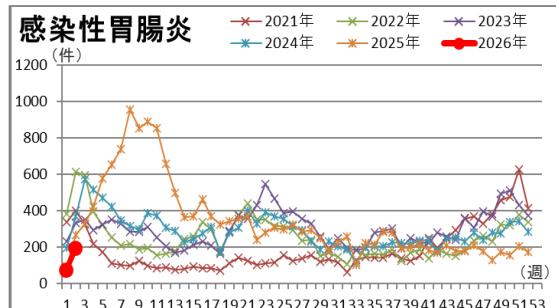


熊本県感染症情報(第2週:1/5~1/11)

感染性胃腸炎に注意しましょう

- 今週(第2週)の報告数は、195件(一定点当たり4.06)で、前週の75件(一定点当たり1.56)から2.60倍となり、注意が必要です。
- 冬期は、ノロウイルスによる感染性胃腸炎の発生が増加する傾向にあります。ノロウイルスは、手指や食品などを介して口から入ると、体の中で増殖し、腹痛やおう吐、下痢などの症状を引き起こします。感染力が強く、大規模な食中毒など集団発生を起こしやすいことが特徴です。
- 「調理・食事の前の手洗い」「食品を十分に加熱する」等を心がけ、感染を予防しましょう。



梅毒に気を付けましょう

- 令和7年の梅毒の報告数は、190件となり、令和4年以降、高水準で推移しています。今週の報告数は、2件で、引き続き、注意が必要です。
- 本県では、感染の早期発見・早期治療、更なる感染拡大防止を目的として、匿名で受けることができる「HIV・梅毒の郵送検査」を実施しています。
- 検査を受けたい方(熊本県内にお住まいの方(熊本市除く))は、熊本県ホームページやチラシを御覧ください。
【参考】HIV・梅毒の郵送検査を開始します！
(<https://www.pref.kumamoto.jp/soshiki/30/178644.html>)



※熊本市でも郵送検査を実施しています。
熊本市内にお住まいの方は、熊本市ホームページを御確認ください。
(<https://www.city.kumamoto.jp/kiji00366663/index.html>)



1 定点把握対象疾患

※県内144定点医療機関からの報告数 : 1/5~1/11

定点	No.	疾患名	今週	前週
急性呼吸器感染症	72	インフルエンザ	↑ 1,047	1,001
		新型コロナウイルス感染症(COVID-19)	↑ 62	27
		急性呼吸器感染症(ARI)	↑ 3,498	2,297
小児科	48	RSウイルス感染症	↑ 20	10
		咽頭結膜熱	↑ 15	9
		A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑ 79	34
		感染性胃腸炎	↑ 195	75
		水痘	↑ 26	13
		手足口病	↑ 7	3
		伝染性紅斑(リンゴ病)	↑ 69	32

定点	No.	疾患名	今週	前週
小児科	48	突発性発しん	↑ 21	4
		ヘルパンギーナ	1	1
		流行性耳下腺炎(おたふくかぜ)	↑ 3	0
眼科	9	急性出血性結膜炎	0	0
		流行性角結膜炎(はやり目)	↑ 12	1
基幹	15	細菌性髄膜炎	↑ 1	0
		無菌性髄膜炎	0	0
		マイコプラズマ肺炎	↑ 8	3
		クラミジア肺炎	0	0
		感染性胃腸炎(ロタウイルス)	↑ 1	0

※定点の右欄は、定点医療機関数。

【報告数の多い疾患】

※地区別: 定点当たりの報告数が多い地域を順に記載

	疾患名	今週	前週	地区別			年齢別		
				1	2	3	20~29歳	128件	12.2%
①	インフルエンザ	↑ 1,047件	1,001件	有明	八代	水俣	20~29歳	128件	12.2%
②	感染性胃腸炎	↑ 195件	75件	菊池	有明	御船 宇城	1歳	32件	16.4%
③	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↑ 79件	34件	宇城	熊本	御船	3歳	12件	15.2%

警報・注意報レベルの基準値 (国の基準) 20180926 時点

疾病	警報レベル		注意報レベル 基準値
	開始基準値	終息基準値	
インフルエンザ	30	10	10
咽頭結膜熱	3	1	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	8	4	-
感染性胃腸炎	20	12	-
水痘	2	1	1
手足口病	5	2	-
伝染性紅斑	2	1	-
百日咳	1	0.1	-
ヘルパンギーナ	6	2	-
流行性耳下腺炎	6	2	3
急性出血性結膜炎	1	0.1	-
流行性角結膜炎	8	4	-

基準値はすべて定点当たりの報告数です。 注意報の「-」は対象としないことを意味します。

冬は特にご注意！

ノロウイルス

による

食中毒

食中毒は夏だけではありません。

ウイルスによる食中毒が**冬に多発**しています !!!

データでみると

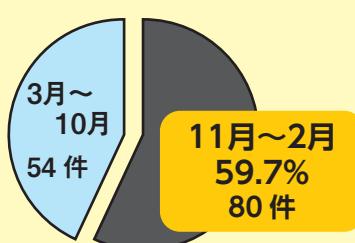
ノロウイルスによる**食中毒**は、

◆患者数で第1位



原因別の食中毒患者数（年間）

◆冬期に多い



ノロウイルス食中毒の発生時期別の件数（年間）

◆大規模な食中毒になりやすい

ノロウイルス 36.7人

その他 8.4人

食中毒1件あたりの患者数

※出典：食中毒統計（令和2～6年の平均。病因物質が判明している食中毒に限る）

ノロウイルスによる食中毒予防のポイント

調理する人の

健康管理

- 普段から感染しないように食べ物のや家族の健康状態に注意する。
- 症状があるときは、食品を直接取り扱う作業をしない。
- 毎日作業開始前に調理従事者の健康状態を確認し、責任者に報告する仕組みをつくる。

作業前などの

手洗い

- 洗うタイミングは、
 - トイレに行ったあと
 - 調理施設に入る前
 - 料理の盛付けの前
 - 次の調理作業に入る前
 - 手袋を着用する前
- 汚れの残りやすいところをていねいに
 - 指先、指の間、爪の間
 - 親指の周り
 - 手首、手の甲

調理器具の

消毒

- 洗剤などで十分に洗浄し、熱湯で加熱する方法又はこれと同等の効果を有する方法で消毒する。

詳しい情報は、厚生労働省ホームページ「ノロウイルスに関するQ&A」をご覧ください。
https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html

ノロウイルスQ&A

検索



ノロウイルスの感染を広げないために

食器・環境・リネン類などの消毒

- 感染者が使ったり、おう吐物が付いたものは、他のものと分けて洗浄・消毒します。
- 食器などは、食後すぐ、厨房に戻す前に塩素消毒液に十分浸し、消毒します。
- カーテン、衣類、ドアノブなども塩素消毒液などで消毒します。
- 次亜塩素酸ナトリウムは金属腐食性があります。金属部（ドアノブなど）消毒後は十分に薬剤を拭き取りましょう。
- 洗濯するときは、洗剤を入れた水の中で静かにのみ洗いし、十分すすぎます。
- 85°Cで1分間以上の熱水洗濯や、塩素消毒液による消毒が有効です。
- 高温の乾燥機などを使用すると、殺菌効果は高まります。

消毒

おう吐物などの処理

- 患者のおう吐物やおむつなどは、次のような方法で、すみやかに処理し、二次感染を防止しましょう。ノロウイルスは、乾燥すると空中に漂い、口に入って感染することがあります。
- 使い捨てのマスクやガウン、手袋などを着用します。
- ペーパータオルなど（市販される凝固剤等を使用することも可能）で静かに拭き取り、塩素消毒後、水拭きをします。
- 拭き取ったおう吐物や手袋などは、ビニール袋に密閉して廃棄します。その際、できればビニール袋の中で1,000ppmの塩素消毒液に浸します。
- しぶきなどを吸い込まないようにします。
- 終わったら、ていねいに手を洗います。

塩素消毒の方法

次亜塩素酸ナトリウムを水で薄めて「塩素消毒液」を作ります。なお、家庭用の次亜塩素酸ナトリウムを含む塩素系漂白剤でも代用できます。

*濃度によって効果が異なりますので、正しく計りましょう。



	食器、カーテンなどの消毒や拭き取り 200ppm の濃度の塩素消毒液		おう吐物などの廃棄 (袋の中で廃棄物を浸す) 1000ppm の濃度の塩素消毒液	
製品の濃度	液の量	水の量	液の量	水の量
12%	5ml	3L	25ml	3L
6%	10ml	3L	50ml	3L
1%	60ml	3L	300ml	3L



- ▶ 製品ごとに濃度が異なるので、表示をしっかり確認しましょう。
- ▶ 次亜塩素酸ナトリウムは使用期限内のものを使用してください。
- ▶ おう吐物などの酸性のものに直接原液をかけると、有毒ガスが発生することがありますので、必ず「使用上の注意」をよく確認してから使用してください。
- ▶ 消毒液を保管しなければならない場合は、消毒液の入った容器は、誤って飲むことがないように、消毒液であることをはっきりと明記して保管しましょう。

ノロウイルスによる感染について

感染経路

<食品からの感染>

- 感染した人が調理などをして汚染された食品
- ウィルスの蓄積した、加熱不十分な二枚貝など

<人からの感染>

- 患者のふん便やおう吐物からの二次感染
- 家庭や施設内などの飛沫などによる感染

症状

<潜伏時間>

- 感染から発症まで24~48時間

<主な症状>

- 吐き気、おう吐、下痢、腹痛、微熱が1~2日続く。感染しても症状のない場合や、軽い風邪のような症状のこともある。
- 乳幼児や高齢者は、おう吐物を吸い込むことによる肺炎や窒息にも要注意。

郵送ができる

HIV・梅毒検査



誰にも知られず
安心して
検査！

HIV・梅毒は **早期発見、早期治療** が大切です。

申込はこちら



<問合せ先>

熊本県 健康福祉部 健康危機管理課 ☎ 096-333-2240

【定点把握対象疾患の推移(過去7週)】

報告期間	第47週 7週前	第48週 6週前	第49週 5週前	第50週 4週前	第51週 3週前	第52週 2週前	第1週 1週前	第2週 今週	第51週 全国3週前	第52週 全国2週前	第1週 全国1週前
	11/17～ 11/23	11/24～ 11/30	12/1～ 12/7	12/8～ 12/14	12/15～ 12/21	12/22～ 12/28	12/29～ 1/4	1/5～1/11	12/15～ 12/21	12/22～ 12/28	12/29～ 1/4
インフルエンザ	2,363 32.82	2,640 36.67	3,604 50.06	4,530 62.92	3,796 52.72	2,524 35.06	1,001 13.90	1,047 14.54	126,127 32.73	87,534 22.77	33,217 10.35
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	69 0.96	64 0.89	51 0.71	48 0.67	32 0.44	57 0.79	27 0.38	62 0.86	4,778 1.24	5,068 1.32	3,629 1.13
急性呼吸器感染症(ARI)	5,807 80.65	5,265 73.13	6,229 86.51	7,096 98.56	6,179 85.82	4,999 69.43	2,297 31.90	3,498 48.58	296,974 77.34	281,298 73.43	93,633 29.12
RSウイルス感染症	58 1.21	29 0.60	20 0.42	26 0.54	29 0.60	15 0.31	10 0.21	20 0.42	1,480 0.63	1,709 0.73	677 0.35
咽頭結膜熱	9 0.19	9 0.19	17 0.35	22 0.46	17 0.35	15 0.31	9 0.19	15 0.31	750 0.32	861 0.37	255 0.13
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	41 0.85	44 0.92	58 1.21	34 0.71	44 0.92	55 1.15	34 0.71	79 1.65	6,512 2.77	6,557 2.80	1,600 0.82
感染性胃腸炎	180 3.75	129 2.69	173 3.60	156 3.25	203 4.23	173 3.60	75 1.56	195 4.06	12,510 5.33	13,079 5.59	3,708 1.90
水 痘	7 0.15	14 0.29	11 0.23	23 0.48	23 0.48	11 0.23	13 0.27	26 0.54	908 0.39	949 0.41	493 0.25
手足口病	3 0.06	4 0.08	0 0.00	0 0.00	0 0.06	0 0.29	3 0.06	7 0.15	136 0.06	131 0.06	68 0.03
伝染性紅斑	79 1.65	83 1.73	89 1.85	92 1.92	100 2.08	81 1.69	32 0.67	69 1.44	1,191 0.51	997 0.43	210 0.11
突発性発しん	20 0.42	20 0.42	20 0.42	20 0.42	16 0.33	26 0.54	4 0.08	21 0.44	509 0.22	516 0.22	141 0.07
ヘルパンギーナ	2 0.04	0 0.00	0 0.00	0 0.00	2 0.04	2 0.04	1 0.02	1 0.02	51 0.02	67 0.03	18 0.01
流行性耳下腺炎	1 0.02	1 0.02	1 0.02	2 0.04	1 0.02	4 0.08	0 0.00	3 0.06	80 0.03	73 0.03	22 0.01
急性出血性結膜炎	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	9 0.01	3 0.00	3 0.01
流行性角結膜炎	6 0.67	7 0.78	10 1.11	17 1.89	8 0.89	8 0.89	1 0.11	12 1.33	419 0.60	372 0.54	68 0.13
細菌性結膜炎	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.07	1 0.03	15 0.03	7 0.01	8 0.02
無菌性結膜炎	0 0.00	1 0.07	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	13 0.03	15 0.03	14 0.03
マイコプラズマ肺炎	15 1.00	13 0.87	16 1.07	10 0.67	9 0.60	6 0.40	3 0.20	8 0.53	389 0.81	339 0.71	205 0.43
クラミジア肺炎	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.01	6 0.01	3 0.01	-
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0 0.00	0 0.00	1 0.07	0 0.00	0 0.00	0 0.00	0 0.00	1 0.02	12 0.02	6 0.01	4 0.01

※ 上段:患者数、下段:定点一医療機関当たりの患者報告数

【全国より一定点当たり2倍以上(3週連続)多い感染症】

(※全国の流行状況の情報還元に時間差があるため、全国の情報は1週前までの内容になります。)

【大きな流行が発生又は継続しつつある地域(保健所)】

・インフルエンザ:熊本市、菊池、人吉、有明、宇城

・なし

・伝染性紅斑(リンゴ病):御船、水俣、有明、宇城

2 全数把握対象疾患

	疾患名	今週	R8累計
2類感染症	結核	3	3
4類感染症	レジオネラ症	1	2
5類感染症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1	1
	侵襲性肺炎球菌感染症	3	3
	水痘(入院例)	1	1
	梅毒	2	2
	百日咳	2	3

※当該週以外の週で、報告遅れや取下げがあるため、R8累計報告数は増減します。

報告があった疾患のみ記載しています。

3 病原体検査情報

※県保健環境科学研究所で病原体検査を実施した結果を記載しています。

季節性インフルエンザではどのウイルスタイプが主流かといった傾向を示しています。

○インフルエンザウイルス検出状況(PCR検査結果) ※2025/26シーズン(R7.9/1～)の累計

季節性 H1 pdm(AH1 pdm09)	A型		B型
	H1(ソ連型)	H3(香港型)	
(今シーズン累計) 2件	0件	29件	1件
(昨シーズン累計) 2件	0件	0件	1件

○呼吸器疾患病原体検出状況 ※第1週(R7.12/29～)からの累計

ライノウイルス	RSウイルス	パラインフルエンザウイルス	ヒトメタニューモウイルス	コロナウイルス	エンテロウイルス
0件 (108件)	0件 (17件)	0件 (41件)	0件 (11件)	0件 (19件)	0件 (77件)
アデノウイルス	その他				
0件 (33件)	0件 (19件)				

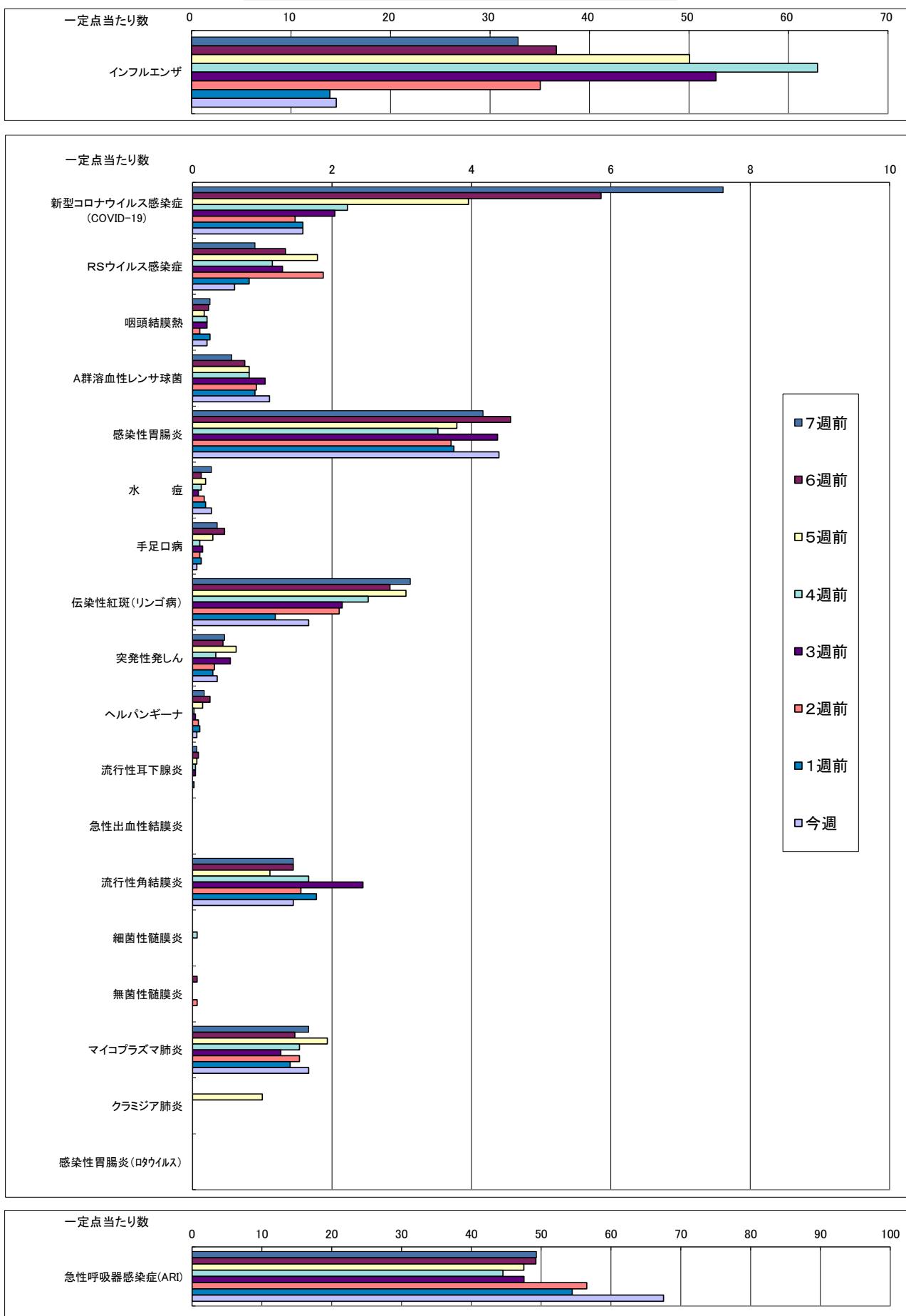
(※かつこ内は昨シーズン累計)

○感染性胃腸炎病原体検出状況 ※第1週(R7.12/29～)からの累計

ノロウイルス	サボウイルス	ロタウイルス	アストロウイルス	アデノウイルス	その他
0件 (0件)	0件 (1件)	0件 (0件)	0件 (0件)	0件 (0件)	0件 (0件)

【週報に関するお問い合わせ先】
健康危機管理課 感染症対策班 直通電話:096-333-2240 (内33154)

一定点当たり週別発生状況の推移



<令和8年第2週>

令和8年1月15日

保健所別発生状況（急性呼吸器感染症・小児科・眼科・基幹定点）

保健所名	インフルエンザ	新型コロナ ウイルス感染症 (COVID-19)	急性呼吸器 感染症 (ARI)	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶血性 レンサ球菌咽 頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑 (リンゴ病)	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	急性 出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 結膜炎	無菌性 結膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)
1 熊本市保健所	306	10	1,174	5	8	40	47	9	1	26	9	0	1	0	8	1	0	3	0	1
2 山鹿保健所	17	0	37	1	0	3	10	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0
3 菊池保健所	79	6	533	4	0	5	35	5	5	4	5	0	0	0	1	0	0	0	0	0
4 阿蘇保健所	27	0	76	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5 御船保健所	46	4	189	0	0	6	18	1	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
6 八代保健所	154	11	300	4	1	3	14	3	0	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
7 水俣保健所	35	0	125	0	1	0	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	0	1	0	0
8 人吉保健所	78	5	216	3	0	1	10	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9 有明保健所	192	22	622	0	2	6	34	8	1	10	1	1	0	0	3	0	0	3	0	0
10 宇城保健所	80	3	128	3	3	14	24	0	0	9	3	0	1	0	0	0	0	0	0	0
11 天草保健所	33	1	98	0	0	1	2	0	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
計	1,047	62	3,498	20	15	79	195	26	7	69	21	1	3	0	12	1	0	8	0	1

保健所別 一定点当り患者報告数（急性呼吸器感染症・小児科・眼科・基幹定点）

保健所名	インフルエンザ	新型コロナ ウイルス感染症 (COVID-19)	急性呼吸器 感染症 (ARI)	RSウイルス 感染症	咽頭 結膜熱	A群溶連菌 咽頭炎	感染性 胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑 (リンゴ病)	突発性 発しん	ヘルパン ギーナ	流行性 耳下腺炎	急性 出血性 結膜炎	流行性 角結膜炎	細菌性 結膜炎	無菌性 結膜炎	マイコプラズマ 肺炎	クラミジア 肺炎	感染性 胃腸炎 (ロタウイルス)
1 熊本市保健所	12.75	0.42	48.92	0.33	0.53	2.67	3.13	0.60	0.07	1.73	0.60	0.00	0.07	0.00	1.60	0.20	0.00	0.60	0.00	0.20
2 山鹿保健所	8.50	0.00	18.50	0.50	0.00	1.50	5.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	—	—	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00
3 菊池保健所	11.29	0.86	76.14	0.80	0.00	1.00	7.00	1.00	1.00	0.80	1.00	0.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
4 阿蘇保健所	9.00	0.00	25.33	0.00	0.00	0.00	0.50	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	—	—	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
5 御船保健所	9.20	0.80	37.80	0.00	0.00	2.00	6.00	0.33	0.00	2.00	0.00	0.00	0.00	—	—	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
6 八代保健所	22.00	1.57	42.86	1.00	0.25	0.75	3.50	0.75	0.00	1.75	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
7 水俣保健所	17.50	0.00	62.50	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	4.00	1.00	0.00	0.00	—	—	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00
8 人吉保健所	15.60	1.00	43.20	1.00	0.00	0.33	3.33	0.00	0.00	0.67	0.00	0.00	0.00	—	—	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
9 有明保健所	27.43	3.14	88.86	0.00	0.40	1.20	6.80	1.60	0.20	2.00	0.20	0.20	0.00	0.00	3.00	0.00	0.00	3.00	0.00	0.00
10 宇城保健所	16.00	0.60	25.60	0.75	0.75	3.50	6.00	0.00	0.00	2.25	0.75	0.00	0.25	—	—	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
11 天草保健所	6.60	0.20	19.60	0.00	0.00	0.25	0.50	0.00	0.00	0.00	0.25	0.00	0.25	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
平均	14.54	0.86	48.58	0.42	0.31	1.65	4.06	0.54	0.15	1.44	0.44	0.02	0.06	0.00	1.33	0.07	0.00	0.53	0.00	0.07

令和8年1月15日

年齢別発生状況(急性呼吸器感染症・小児科・眼科・基幹定点)

令和8年第2週

急性呼吸器感染症定点年齢区分	合計	0-5 カ月	6-11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14 歳	15-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70-79 歳	80歳 以上
インフルエンザ	1,047	10	14	51	51	29	47	42	44	24	32	18	99	86	128	92	83	72	56	36	33
新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	62	1	1	2	4	1	2	0	1	0	0	0	3	2	7	5	11	12	4	4	2

急性呼吸器感染症定点年齢区分	合計	0歳	1~4 歳	5~9 歳	10~ 14歳	15~ 19歳	20~ 29歳	30~ 39歳	40~ 49歳	50~ 59歳	60~ 69歳	70~ 79歳	80歳 以上
急性呼吸器感染症(ARI)	3,498	196	894	572	289	180	238	216	203	185	199	198	128

小児科定点年齢区分	合計	0-5 カ月	6-11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14 歳	15-19 歳	20歳 以上
RSウイルス感染症	20	5	7	7	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	15	0	1	7	1	2	2	0	0	0	1	1	0	0	0
A群溶連菌咽頭炎	79	0	0	0	3	12	9	6	8	10	10	8	11	0	2
感染性胃腸炎	195	1	9	32	15	11	26	7	14	12	9	10	29	7	13
水痘	26	0	0	1	2	3	1	2	4	1	4	1	5	0	2
手足口病	7	0	2	3	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	69	0	1	4	5	4	10	12	12	7	4	6	4	0	0
突発性発疹	21	0	2	18	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	3	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	1	0	0

眼科定点年齢区分	合計	0-5 カ月	6-11 カ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10-14 歳	15-19 歳	20-29 歳	30-39 歳	40-49 歳	50-59 歳	60-69 歳	70歳 以上
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	12	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1	0	0	5	1	0	1	2

基幹定点年齢区分	合計	0歳	1-4歳	5-9歳	10-14 歳	15-19 歳	20-24 歳	25-29 歳	30-34 歳	35-39 歳	40-44 歳	45-49 歳	50-54 歳	55-59 歳	60-64 歳	65-69 歳	70歳 以上
細菌性髄膜炎	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	8	0	0	1	6	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
クラミジア肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

インフルエンザ様疾患による学級閉鎖等について(第2週:1/5~1/11)

令和8年(2026年)1月15日(木)
熊本県 健康危機管理課

1 学級閉鎖について

No	所在地	施設名	措置種別	学年	措置した学級数 /学年の総組数	休校	学年閉鎖	学級閉鎖	在籍数	患者数	欠席数	措置の期間	備考
1		※報告なし											
			—	—	—	0	0	0	0	0	0		

2 学校の休業等に係るインフルエンザ様疾患の発生状況（2025～2026シーズン）

期間		9月 (9/1～9/28)	10月 (9/29～10/26)	11月 (10/27～11/30)	12月 (12/1～12/28)	第1週 (12/29～1/4)	第2週 (1/5～1/11)	合計
合計（人数）		153	131	3,791	7,014	0	0	11,089
保健所別	熊本市	37	76	2,820	3,270	0	0	6,203
	有明	0	12	143	741	0	0	896
	山鹿	0	0	69	318	0	0	387
	菊池	12	0	260	954	0	0	1,226
	御船	0	0	35	346	0	0	381
	阿蘇	82	0	65	232	0	0	379
	宇城	0	25	149	116	0	0	290
	八代	22	0	97	314	0	0	433
	水俣	0	0	69	178	0	0	247
	人吉	0	0	77	280	0	0	357
	天草	0	18	7	265	0	0	290
昨年同期		0	124	105	2,611	0	0	2,840

※学校等からの届出があった日でカウントしています。

県内のインフルエンザの発生状況は、県のホームページに掲載しております（毎週更新）。

本書の情報はあくまで速報値です。

○インフルエンザの予防方法は

- ・咳エチケットを守りましょう。
- ・できる限り人混みを避けましょう。
- ・こまめに石けんを使用して丁寧に手洗いをしましょう。
- ・十分な栄養、休養、睡眠を心がけましょう。



○「せき」や「くしゃみ」で出るしぶきで、ウイルスが広がります。

- ・「せき」や「くしゃみ」が出るときは、マスクを着用しましょう。
- ・マスクをしていない場合は、「せき」や「くしゃみ」をする際は、ティッシュなどで口や鼻を押さえ、顔をそむけましょう。
- ・使用後のティッシュや使い捨てマスクは、すぐにゴミ箱に捨てましょう。